

iEVO 2025

IBMiクラウドリフト事例 ご紹介

SCSK Minori ソリューションズ

2025年11月27日

クラウド基盤サービス第一事業本部

クラウド基盤サービス部



サミットスチール株式会社 Summit Steel Co., Ltd.

本社 大阪本社 大阪府中央区
東京本社 東京都江東区
設立 2012年
資本金 462百万円
従業員 395名(2025年4月現在)

大手商社系の中核コイルセンター3社が統合して2012年10月に誕生。
コイルセンターとはコイル状の鋼板を加工・販売・保管を行う加工流通業。
国内外の高炉・電炉メーカーから入荷した材料を得意先の要求に合わせ加工し販売。販売先の業種は自動車、電機、住宅建材、鋼材特約店等多岐にわたる。今回更新した基幹システムを利用する拠点は国内に関連会社含め、7加工工場3営業拠点、北海道から九州まで全国をカバーする。



新たな価値への**創造**と、
社会に貢献する**グローバルな技術**

■ 弊社:会社概要



会社名	SCSK Minoriソリューションズ株式会社		
本社所在地	東京都江東区豊洲3丁目2番20号 豊洲フロント		
設立	1980年6月		
資本金	4億8千万円		
社員数	1,451名 (2025年4月現在)		
役員	森下 祐治	代表取締役会長	
	戸田 賢二	代表取締役社長	
	和氣 茂	取締役専務執行役員	産業・金融ビジネスユニット管掌
	吉田 貴幸	取締役(非常勤)	
	井上 賢司	取締役(非常勤)	
	松原 勇三	取締役(非常勤)	
	唐笠 弘	監査役	
	佐藤 育子	常務執行役員	経理法務本部管掌
	北村 雅樹	常務執行役員	クラウド基盤ビジネスユニット管掌
	古川 成人	常務執行役員	西日本地区担当、営業本部管掌
	小野寺 榮二	執行役員	経営企画本部管掌
	山口 功	執行役員	人事総務本部管掌
	今村 隆	執行役員	営業本部長
	中別府 博之	執行役員	ソリューションビジネスユニット管掌
	川端 隆浩	執行役員	技術企画本部・事業サポート本部管掌



本社
〒135-0061
東京都江東区豊洲3-2-20
豊洲フロント5F
TEL:03-6772-6900(代表)



大阪支社
〒541-0052
大阪府大阪市中央区安土町1-8-15
野村不動産大阪ビル10F
TEL:06-4705-3901



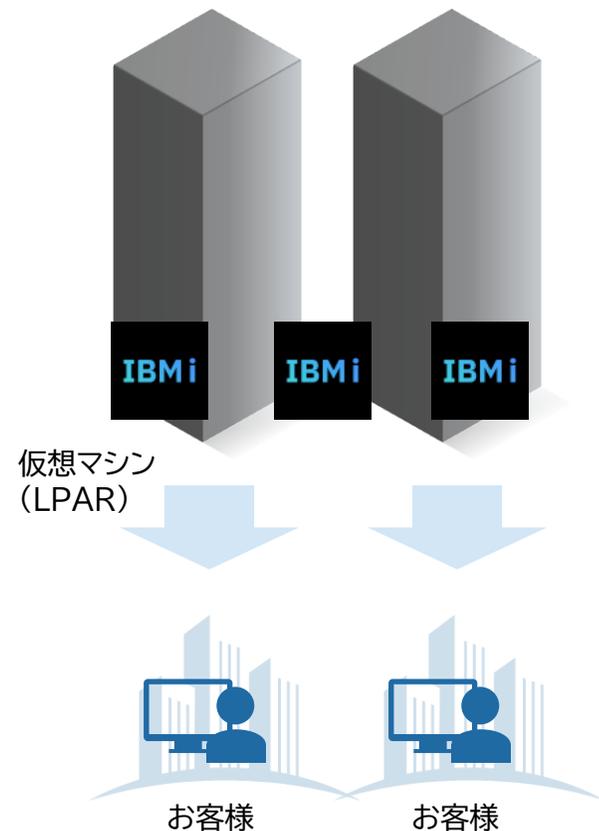
仙台事業所
〒980-0803
宮城県仙台市青葉区国分町1-7-16
ウッドライズ仙台7F
TEL:022-261-6331



松本事業所
〒390-0863
長野県松本市白板1-9-31
TEL:0263-38-5530

IBM i 仮想マシンの利用権サービス
(サブスクサービス)

IBM Power Systems



- 2008年 Managed DR
オンプレマシンの災対サービス
としてスタート
- 2009年 Managed i
本番環境としての利用を想定
したサービス開始

協業開始

- 2018年 NI+Cクラウド POWER
(2024年 Power クラウド NEXT へ)
- 2020年 IIJ GIO Power-i サービス
- 2024年 MONO-X PVS One
(IBM クラウド Power VS ベース)

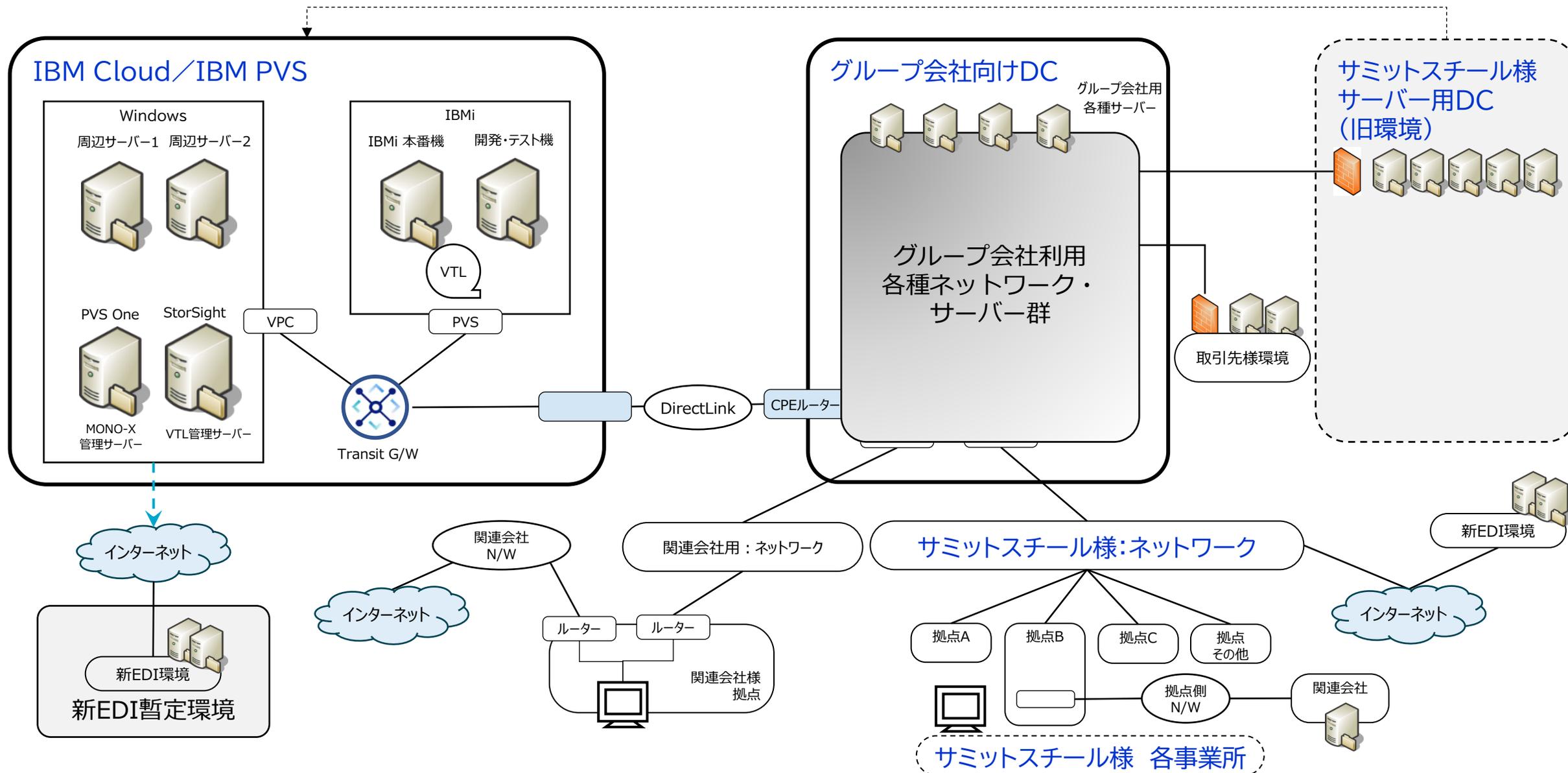
国内の IBM i クラウドで

最も早い時期から
サービス開始した1つ
(当社調べ)

国内では数少ない

複数のIBM i クラウド
を提供

■システム構成・ネットワーク構成全体図



・MONO-X様PVS Oneサービスとの協業による進行

- ・構築、運用、両面での協業体制
- ・クラウド側インフラ設備構築に対する柔軟な対応

・グループ会社共有ネットワーク環境の制約への対応

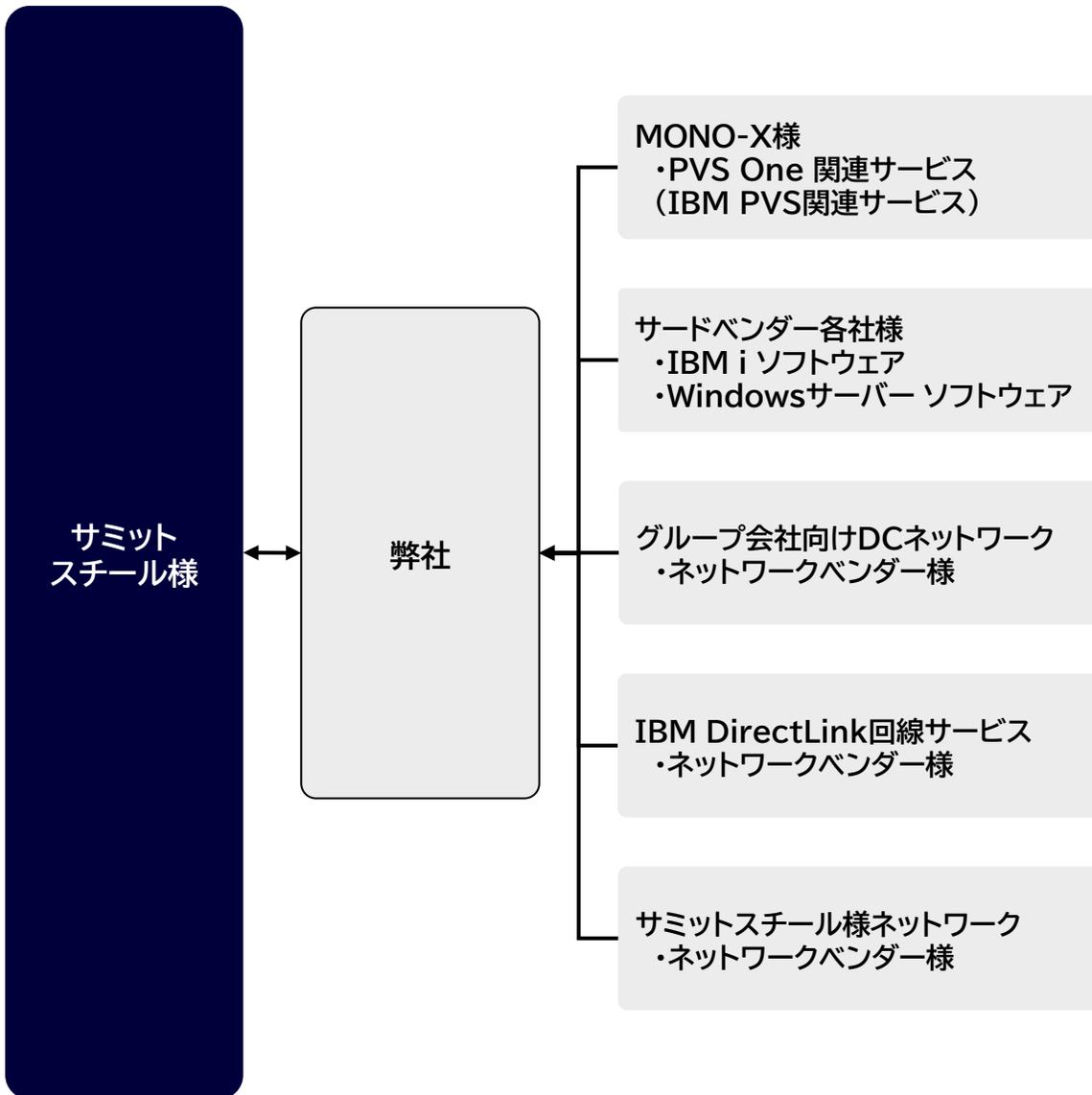
- ・通信要件の整理、設定変更・テストなど、段階的な進行
- ・大容量データを流すことに制約あり
- ・新PVS/IBM CloudでのIPアドレスは、管理上、旧環境から変更が必要となった

・本番切替作業時間の制約への対応

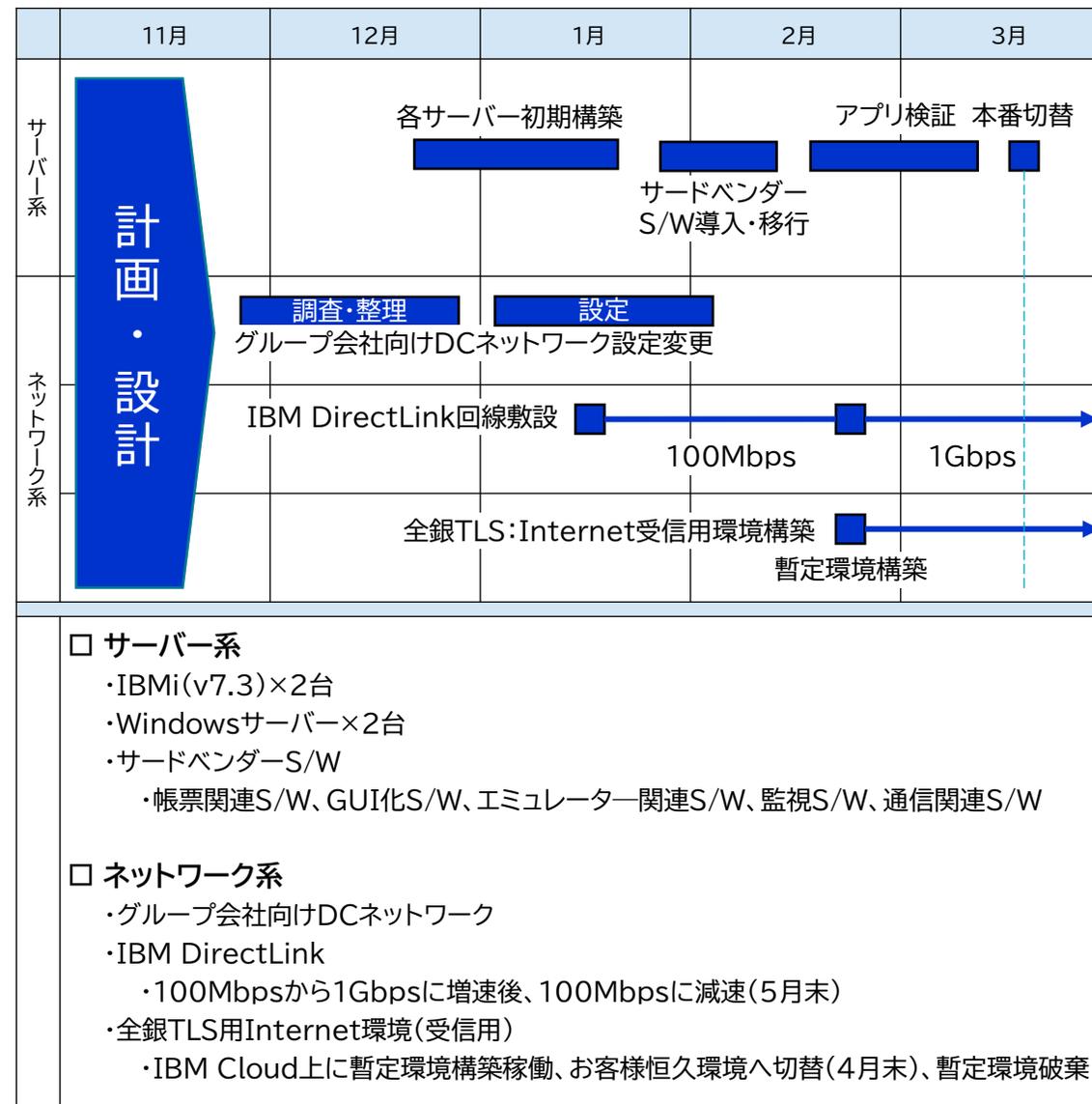
- ・旧システムのSAVEから新システムへのRESTORE完了・確認までの時間制約
 - ・方式選定
 - ・IMGCLG(旧システムのディスク上へのデータ保管)+FTP
 - ・同期ツール方式
 - ・VTL複製方式
- ・DirectLink回線の期間限定増強(100Mbps→1Gbpsへ)
- ・移行データ→お客様側に整理頂く、移行優先度をつける

■PVS移行:プロジェクト遂行体制とスケジュール

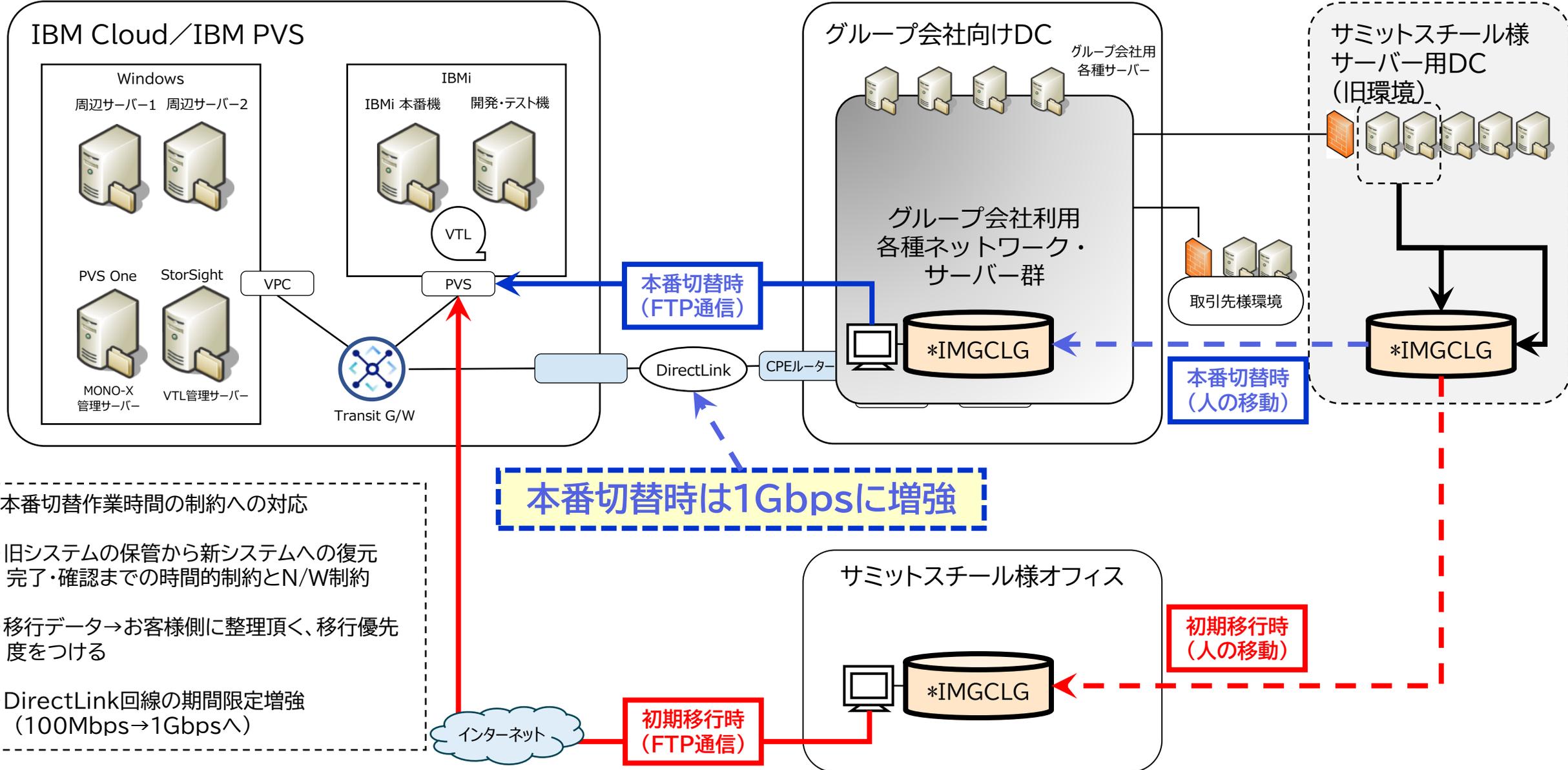
体制(イメージ)



スケジュール概要



■データ移行方式:外部DEVICEを利用した*IMGCLGのFTP転送



- ※本番切替作業時間の制約への対応
- ・旧システムの保管から新システムへの復元完了・確認までの時間的制約とN/W制約
 - ・移行データ→お客様側に整理頂く、移行優先度をつける
 - ・DirectLink回線の期間限定増強 (100Mbps→1Gbpsへ)

■バックアップ方式と今後の計画イメージ

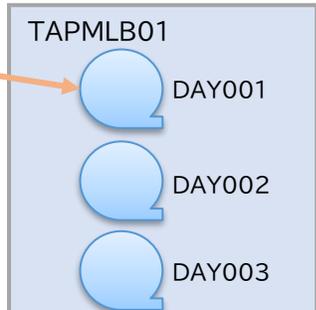
実現内容

■オンプレ環境時

IBMi

IBM iからバックアップ

- ・装置名 : TAPMLB01
- ・CTG-ID :
 - ・ DAY001
 - ・ DAY002
 - ・ DAY003



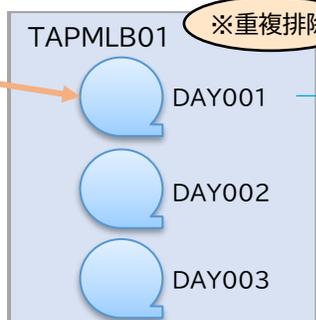
バーコード・ラベル名

■PVS移行後(オンプレ環境時と何も変更なし)

IBMi

IBM iからバックアップ

- ・装置名 : TAPMLB01
- ・CTG-ID :
 - ・ DAY001
 - ・ DAY002
 - ・ DAY003



VTL装置のCTG-ID名

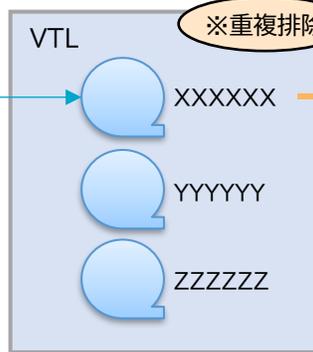
仮想テープへのバックアップ
(IFS上の*IMGCLG)



PVS One R2で
ICOSへExport

今後の計画

遠隔保管イメージ



単独VTLへReplication

DR環境イメージ

IBM iインスタンスとVTLを
接続/復元

IBMi

IBM iインスタンスへ復元

IBMi

IBM iへICOSから
Export

1.VTLパターン

他リージョンにIBM iのインスタンスがなくても、FalconStor VTLのみがあればレプリケーション可能

VTLは重複排除機能によりお徳

有事には他リージョンにIBM iをデプロイし、FalconStor VTLを接続すれば、同様にテープ装置として見えるため、Replication後に復元し復旧する

2.ICOSパターン

IBM iの機能で仮想テープ装置へバックアップを取得、IFS上のテープイメージをICOS上にエクスポートし、ICOSの機能で他リージョンのICOSへレプリケーションすることで遠隔地保管となる

ICOS間のレプリケーションはIBM Cloudネットワークを使用するため高速、かつ無料

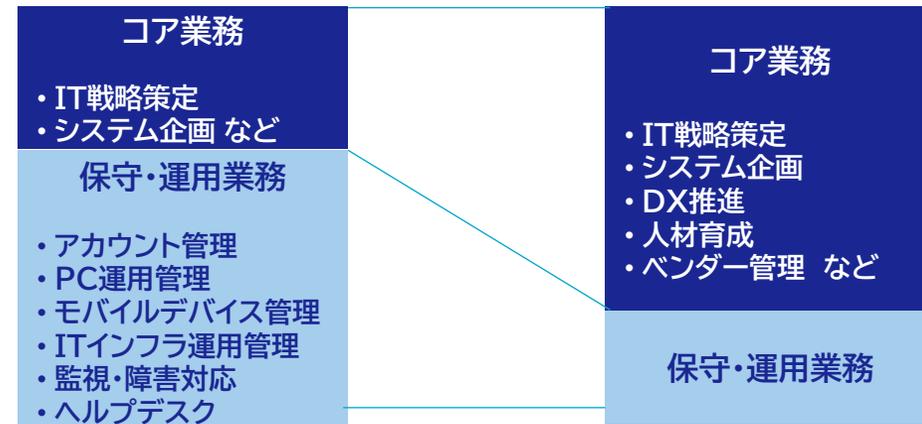
有事には他リージョンにPVSを構築し、復元し復旧する

弊社の「情シスマるごとサポート」サービスの一環で、お客様からのご質問等を、弊社サービスデスクが受け、IBM PVS設備側の対応が必要な場合は、MONO-X様へエスカレーションするイメージとなります。

情シスマるごとサポートの特長

- 1 お客様のコア業務時間を確保**
 - ・情報システム部門のコア業務であるIT戦略の策定やシステム企画に集中いただくため、保守・運用部分をまるごとサポート
- 2 高い専門性**
 - ・IT運用のノウハウ・実績のあるエンジニアが広範囲をトータルサポート
- 3 窓口一本化 マルチベンダー運用支援**
 - ・様々な問い合わせ先を一本化
 - ・多様なハードウェアメーカーやソフトウェアメーカーに加えアプリケーションベンダーも含めたマルチベンダー運用支援サービス
- 4 スモールスタート**
 - ・システム規模やご要件に応じて必要なサービスを選択可能
 - ・ニーズに合わせてハイブリッド型(常駐&センターサービス)のサービスもご提供可能

アウトソーシング導入効果のイメージ



サービス提供イメージ

